

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<総合リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況【資料1参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸学院大学教育開発センターFD部会</li> <li>・学部FD委員会</li> <li>・神戸学院大学自己点検評価委員会</li> <li>・学部自己点検評価小委員会</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学FD部会は6回開催された。学部FD委員から選出された者1名が出席した。</li> <li>・学部FD委員会は原則毎月1回開催（平成27年度は4回開催）【資料2】</li> </ul> <p>委員会は、理学療法学科、作業療法学科、社会リハビリテーション学科から各1名選出された教員により構成されている。平成27年度は4回全て、全委員出席で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部自己点検評価小委員会は理学療法学科、作業療法学科、社会リハビリテーション学科から選出された教員3名以上により構成されている。2か月に1回以上開催した。【資料3】</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学FD部会 FD講演会、ワークショップ企画実施、授業評価アンケート実施計画、授業改善アンケート結果の公開と教員のコメントについて等を審議した。</li> <li>・学部FD委員会 学部学生とFD委員との懇談会の企画、学科別FD講演会の企画、学部FD講演会の企画、理学療法学科実習指導者会議の企画、作業療法学科臨床実習指導者会議の企画、教員の表彰規程の立案、大学FD部会審議内容の報告</li> <li>・学部自己点検評価小委員会 【資料3】 新委員による自己点検報告書及び中期行動計画年次達成度報告書に関する現状の共有、自己点検報告書及び2014年度中期行動計画年次達成度報告書の内容の把握、大学評価機構への改善報告書の修正箇所についての確認、2015年度年次達成度報告書（中間報告）の作成、大学評価機構による評価に対応するための準備、2015年度分の中期行動計画年次達成度資料の作成</li> </ul>
--

## ② 実施状況

### a 実施内容

- ・大学FD部会主催のFD講演会、ワークショップを開催した。【資料4】
- ・大学FD部会では Semester 終了直前（7月及び12月）に授業改善アンケートを実施し、授業毎の結果を公表すると共に、評価結果に対する担当教員からのコメントを付している。平成26年度よりWEB上で公開している。平成27年度は7月と12月に授業改善アンケートを実施し、平成27年7月分を平成27年10月に、平成27年12月分を平成28年3月に公開した。
- ・「学生とFD委員との懇談会」は平成27年7月1日に実施した。【資料5】
- ・学部FD委員会ではFD講演会を5回開催した。
- ・作業療法学科において臨床実習施設の学生指導担当者とともに学生指導の質向上を図る臨床実習Ⅱ指導者会議を平成27年4月11日に開催した。
- ・理学療法学科において臨床実習施設の学生指導担当者とともに学生指導の質向上を図る臨床見学実習、臨床評価実習、理学療法臨床実習、実習指導者会議を平成28年2月27日に開催した。
- ・学術誌「神戸学院総合リハビリテーション研究」の第11巻2号（平成28年3月）に学部教員の論文及び当該年度における研究業績を記載した。

### b 実施方法

- ・「授業改善アンケート結果及び結果に対する担当教員からのコメントの公開」については学部教員及び学生にWEB上で公開した。また、学術誌「神戸学院総合リハビリテーション研究」は同一学問領域の学部学科を有する大学等（約170校）及び学内に配布した。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

学部FD委員会主催のFD講演会5回、臨床実習指導者会議を2回実施した。テーマと教員の参加人数は以下のとおりである。

#### ・FD講演会

<第1回：日時 平成27年9月9日>

テーマ：「発達障害のある学生への支援～発達障害の理解と支援体制作りに向けて～」

講師①：社会福祉法人すいせい精神保健福祉士・社会福祉士・相談支援専門員 永井俊広

講師②：社会福祉法人すいせい社会福祉主事・第一号職場適応援助者 塚田吉登

参加者 学部教職員29名

<第2回：日時 平成27年9月16日>

テーマ 「社会福祉学科運営と国試対策」

講師：神戸女子大学健康福祉学部社会福祉学科主任教授 松崎喜良

参加者：社会リハビリテーション学科教員8名

<第3回：日時 平成27年12月9日>

テーマ：「生活行為向上マネジメントをどうカリキュラムに生かすか」

講師：神戸学院大学総合リハ学部作業療法学科准教授 大庭潤平

参加者：作業療法学科教員11名

<第4回：日時 平成28年3月2日>

テーマ：「超高齢社会における新しい研究課題」

講師：桜美林大学老年学研究科教授 長田久雄

参加者：学部教職員24名

<第5回：日時 平成28年3月18日>

テーマ：「USAにおける社会福祉教育の現状」

講師：Dr. Golam M. Mathbor (Professor, School of Social Work, Monmouth University, USA)

参加者：社会リハビリテーション学科教員8名

#### ・臨床実習指導者会議

<日時：平成26年 4月11日>

テーマ：作業療法学科「臨床実習Ⅱ指導者会議」

参加者：実習指導者46名、学部教員14名

<日時：平成28年2月27日>

テーマ：理学療法学科「臨床実習指導者会議」

参加者：実習指導者62名、学部教員11名

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・学生とFD委員との懇談会は、学生からの率直な意見を行く場であり、その結果を教授会に報告し、授業改善や教育環境の改善に役立てている。今後は学生も参加するFD活動を考えていきたい。
- ・臨床実習指導者会議により、実習教育のあり方について実習受け入れ側と大学側教員の互いに貴重な情報の交換がなされ、双方の教育目標について相互に理解が深まりたいへん有益な会議となった。今後も定期的な開催を計画し、実習指導者と教員が協同し実習教育の質向上を図っていきたい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

「授業改善アンケート」と称し実施している。実施時期は、 Semester 終了直前（7月及び12月）である。授業毎の結果を公表すると共に、そこに結果に対する担当教員からのコメントを付して7年12月分を平成28年3月に公開している。

b 教員や学生への公開状況，方法等

教員及び学生に対して、授業毎の結果及び結果に対する担当教員からのコメントをWEB上で公開している。平成27年7月実施分を平成27年10月に、平成27年12月実施分を平成28年3月に公開した。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙・資料6参照

#### ② 自己点検・評価報告書

##### 【全学】

教育研究活動等の状況について自ら点検・評価を行い、その結果を公表することを学則、大学院学則に規定している。

本学の自己点検・評価をつかさどる組織として、自己点検・評価に関する基本的な事項を審議し決定する自己点検評価委員会を設け、そのもとに各組織にかかる事項の自己点検・評価を実施し、当該報告書を作成するために、30以上の自己点検評価小委員会を置いている。さらに、自己点検・評価の内容等を第三者的な立場で検証するため、学外の学識経験者を構成員に含んだ自己点検評価結果検証委員会を設置するなど、体制を充実させ、積極的に自己点検・評価に取り組んでいる。

具体的には、平成24年、法人創立100周年を機に平成25年度から5年間に実施する施策をまとめた「中期行動計画」の年度毎の進捗評価を、「年次達成度報告書」でもって行うことを自己点検評価委員会で決定し、自己点検・評価を実施している。

なお、平成24年度の自己点検・評価をとりまとめた「2012年度改革・改善報告書」において、改革・改善が完了していない項目についても、「年次達成度報告書」でもって自己点検・評価を行った。

平成25年度以降も、毎年自己点検・評価を行っている。その結果については、翌年度に本学のホームページ上で公表を行っている。平成27年度の自己点検・評価の結果の公表については、次項のとおり公表を行う予定である。

##### 【総合リハビリテーション学部】

総合リハビリテーション学部の所管する事項についての具体的な施策を、「中期行動計画」として定めた。自己点検評価委員会のもと総合リハビリテーション学部自己点検評価小委員会にて、その実施状況等に関する自己点検・評価を行い、「年次中間報告書及び年次達成度報告書」としてまとめた。

##### a 公表（予定）時期

平成27年度の「年次達成度報告書」は、自己点検評価結果検証委員会において検証され、検証結果に基づき各自己点検評価小委員会にて加筆・修正するなど学内手続きを経て、平成28年度内に公表する。

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上で公表する

#### ③ 認証評価を受ける計画

認証評価（公益財団法人大学基準協会）を平成29年度に受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成28年7月1日 )